

## 1. 略歴

- 1978年 3月 東京大学文学部美術史学専修課程卒業
- 1978年 4月 東京大学大学院人文科学研究科修士課程（美術史学専攻）入学
- 1980年 3月 東京大学大学院人文科学研究科修士課程（美術史学専攻）修了
- 1980年 4月 東京国立博物館学芸部資料課に勤務（文部技官）
- 1981年 4月 文化庁文化財保護部美術工芸課に出向
- 1989年 10月 同上 絵画部門文化財調査官
- 1994年 10月 東京大学文学部に出向（助教授）
- 1995年 4月 東京大学大学院人文社会系研究科助教授（美術史学）
- 2000年 4月 東京大学大学院人文社会系研究科教授（美術史学）

## 2. 主な研究活動

### a 専門分野

日本美術史を専攻する。主たる分野は江戸時代の絵画・版画の歴史。

### b 研究課題

室町時代末期から江戸時代初期にかけての風俗画、江戸中期の若冲・蕭白と浮世絵、中後期の南画を主な研究領域としている。近年は平安・鎌倉時代の絵巻や近代の洋画も論文の主題にするなど、論及の対象は拡大し、日本美術史全体を概観するようになった。本来は記号論、社会史、精神分析などの観点を日本絵画の解釈に生かすとともに、作品と文献史料の双方で絵画史研究のための基礎資料を整備することに努めている。

### c 概要と自己評価

著書は1993年刊行の旧版を文庫本に改めたものだが、その後の自身の研究の進展を反映して、一部を増補改訂もした。伊藤若冲研究に基づくワシントンでのシンポジウム発表（2012年）、岩佐又兵衛「伊勢物語 梓弓図」（文化庁）を主題としたベルリンでのシンポジウム発表（2013年）の英文報告書は、いずれも刊行される気配がなかったのが（前者は2018年5月に出版、発表内容を増補した日本語の論文を紀要に掲載した。ふたりの画家に関する研究の最前線といえる内容であろうと思う。以下に特記していない仕事としては、Tsuji Nobuo, *History of Art in Japan* (Translated by Nicole Coolidge Rousmaniere, University of Tokyo Press, 2018) の校訂作業がある。631ページの書物となる前の英文原稿すべてを読み、専門の立場から校正を行なった。また、2018年4月から5月にかけて東京国立博物館で開催された特別展「名作誕生——つながる日本美術」のために、『國華』編集委員を代表して最初の企画を立案するとともに、実現のための会議をこの間重ねた。展覧会のための広報活動も以下の業績には含まれる。

美術史学会常任委員に選出され、編集委員、例会委員、『美術史』論文賞選考委員（委員長）を務めた。

### d 主要業績

#### (1) 著書

単著、佐藤康宏、『湯女図 視線のドラマ』、筑摩書房、2017.2

#### (2) 論文

佐藤康宏、「放送大学試験問題文削除事件」、『法学セミナー』、741号、50-54頁、2016.10

佐藤康宏、「江戸の浮世絵認識」、『美術フォーラム21』、34号、42-47頁、2016.11

佐藤康宏、「物語絵の伝統を切断する——岩佐又兵衛「梓弓」」、『美術史論叢』、33号、47-61頁、2017.3

佐藤康宏、「伊藤若冲——市場の画家」、『美術史論叢』、33号、63-82頁、2017.3

#### (3) 解説

佐藤康宏、「岡田米山人筆楓林停車図」、『國華』、1457号、38-42頁、2017.3

佐藤康宏、「初代鳥居清信筆初代市川団十郎の竹抜き五郎」、『國華』、1465号、52-54頁、2017.11

佐藤康宏、岸田劉生筆「道路と土手と堀（切通之写生）」、『一個人』、211号、94頁、2018.3

佐藤康宏、「土偶」（宮城県大崎市蕪栗恵比須田遺跡出土）、『國華』、1469号、56-57頁、2018.3

#### (4) 啓蒙

佐藤康宏、「日本美術史不案内 84 幻再びか」、『UP』、522号、54-55頁、2016.4

佐藤康宏、「日本美術史不案内 85 東大教師が新入生にすすめる日本美術史以外の本 その七」、『UP』、523号、52-53頁、2016.5

- 佐藤康宏、「日本美術史不案内 86 ある誤報」、『UP』、524号、50-51頁、2016.6
- 佐藤康宏、「日本美術史不案内 87 宗達新論」、『UP』、525号、72-73頁、2016.7
- 佐藤康宏、「日本美術史不案内 88 物の味方」、『UP』、526号、52-53頁、2016.8
- 佐藤康宏、「日本美術史不案内 89 洞の中の魍魎」、『UP』、527号、68-69頁、2016.9
- 佐藤康宏、「日本美術史不案内 90 散華」、『UP』、528号、54-55頁、2016.10
- 佐藤康宏、「日本美術史不案内 91 さゆみちゃん」、『UP』、529号、66-67頁、2016.11
- 佐藤康宏、「日本美術史不案内 92 われアルカディアにもありき」、『UP』、530、44-45頁、2016.12
- 佐藤康宏、「日本美術史不案内 93 よみがえる亡霊」、『UP』、531号、56-57頁、2017.1
- 佐藤康宏、「日本美術史不案内 94 夜色楼台雪万家」、『UP』、532号、54-55頁、2017.2
- 佐藤康宏、「日本美術史不案内 95 文化工学の夢」、『UP』、533号、44-45頁、2017.3
- 佐藤康宏、「本誌連載陣が新入生にすすめる本」、『UP』、534号、30-32頁、2017.4
- 佐藤康宏、「日本美術史不案内 96 東大教師が新入生にすすめない本」、『UP』、535号、66-67頁、2017.5
- 佐藤康宏、「日本美術史不案内 97 学んで時にこれを習う」、『UP』、536号、60-61頁、2017.6
- 佐藤康宏、「日本美術史不案内 98 官邸の共謀」、『UP』、537号、58-59頁、2017.7
- 佐藤康宏、「日本美術史不案内 99 ラストエンペラー」、『UP』、538号、42-43頁、2017.8
- 佐藤康宏、「日本美術史不案内 100 人形作家」、『UP』、539号、60-61頁、2017.9
- 佐藤康宏、「日本美術史不案内 101 パスを出す」、『UP』、540号、60-61頁、2017.10
- 佐藤康宏、「日本美術史不案内 102 時が刻むもの」、『UP』、541号、46-47頁、2017.11
- 佐藤康宏、「日本美術史不案内 103 ネオ江戸便り」、『UP』、542号、50-51頁、2017.12
- 佐藤康宏、「日本美術史不案内 104 憂世の画家」、『UP』、543号、60-61頁、2018.1
- 佐藤康宏、「日本美術史不案内 105 国宝の空隙」、『UP』、544号、46-47頁、2018.2
- 佐藤康宏、「日本美術史不案内 106 ミソジニー」、『UP』、545号、24-25頁、2018.3

(5) マスコミ

「見返り美人図」はつくられた美 !?」、『週刊朝日』、朝日新聞社、2018.3.16

「脈打つ美の系図 体感」、『朝日新聞 (朝刊)』、朝日新聞社、2018.3.27

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

非常勤講師、朝日カルチャーセンター・新宿、「伊藤若冲 その生涯と作品」、2016.4

非常勤講師、朝日カルチャーセンター・横浜、「若冲の「動植綵絵」」、2016.4

委嘱教授、放送大学、「日本美術史 (14)」、2016.4~2016.9

非常勤講師、早稲田大学エクステンションセンター、「岩佐又兵衛の絵画」、2016.6

非常勤講師、京都造形芸術大学、「若冲が写す／若冲を写す」、2016.7

特別講演、福井県立美術館、「だれも描かなかったものを彼は描いた——岩佐又兵衛の絵画」、2016.8

非常勤講師、朝日カルチャーセンター・新宿、「蕪村の絵画」、2016.9

非常勤講師、早稲田大学エクステンションセンター、「若冲とその時代」、2016.9~2016.10

非常勤講師、朝日カルチャーセンター・横浜、「黒の若冲——水墨画と版画」、2016.10

非常勤講師、朝日カルチャーセンター・新宿、「若冲がまねる、若冲をまねる」、2016.11~2016.12

特別講演、東京美術倶楽部、「南画案内 1——初期南画と大雅・蕪村」、2017.2

特別講演、東京美術倶楽部、「南画案内 2——浦上玉堂から渡邊崋山まで」、2017.3

その他、ギャラリーK、「潑墨山水画の宇宙と自然」、2017.4

特別講演、浦上家史編纂委員会・東京大学東洋文化研究所東洋学研究情報センター、「山中読書、野橋曳杖——浦上玉堂における隠逸の表象」、2017.6

特別講演、京都国立博物館、「遊楽図の始まりと終り——「高雄観楓図」と「彦根屏風」」、2017.7

特別講演、福島県立博物館、「国宝とは何か——文化財保護・博物館・美術工芸品」、2018.1

非常勤講師、早稲田大学エクステンションセンター、「快盗日本美術史!」、2018.3

(2) 行政

文化庁、文化審議会専門委員 (文化財分科会)、2016.3~

練馬区、練馬区立美術館運営協議会委員、2016.4~2017.3

文化庁、登録美術品調査研究協力者、2016.5~

鎌倉市、鎌倉市美術工芸品等収集選定委員会委員、2016.3～

(3) 学外組織（学協会、省庁を除く）委員・役員

任意団体、國華編輯委員会、編輯委員、2016.4～2018.3

(4) 学会

国内、美術史学会、常任委員、2017.6～